

## 五千万ドル相当の通勤電車 ボンバルディエ社が米国から受注

モントリオールに本社をおくボンバルディエ社は、このほど米国における今年最大の都市間輸送機器の注文を獲得した。

この注文は、ニュー・ジャージー州の通勤者輸送用に五十七台の高速度鉄道車両を建造するというもので、契約高は五千万ドル。さらに五十八台の車両を追加するというオプシオンもあり、これが実行されると、総額は一億ドルを超えることになる。

この鉄道車両はコンピュータ自動制御方式で、車輪はタイヤ。従来の鉄道車両より速度、安全性ですぐれているという。

ボンバルディエ社では、また最近、初めてアメリカの全国鉄道旅客公社（アムトラック）にLRC（軽量・快速・快適）都市間乗客輸送用列車を引渡した。LRCは、ボンバルディエ、ハミルトンのドミニオン・ファウンドリーズ・アンド・スチールおよびモントリオールのアルキャン・カナダ・プロダクツの三社が共同開発したもので、油圧動力バイキング・システムが車両に組込まれているのが特

徴。電子感度計の命令で動く自動安定装置が遠心力を消し、カーブで高速を出していても車両の水平を保たせることができるようになっている。

## 「オー・カナダ」が正式の国歌に

事実上カナダの国歌として歌われてきた「オー・カナダ」が、カナダ建国の日の七月一日、下院議会にて正式に国歌として定められた。「オー・カナダ」はフランス系カナダ人のカリクサ・ラバレーが百年前に作曲したもので、英仏両語で歌う。

## 憲法改正で討議 連邦と各州政府

一八六七年に英国議会が制定したカナダの憲法「英領北アメリカ条例」に対する最終権限を英国からカナダに移し、同時にその内容をカナダの現状に合わせて大幅に改正するための協議が、連邦政府と州政府の間で行なわれている。憲法の「カナダ化」および改正に関する連邦・州間の話し合いは、過去にも何回かなされたが、いずれも改正の方向や内容について合意に達しなかった。新憲法について特に論議の的に

なっているのは、カナダ連邦の形態（カナダを各州の「自由連合」と規定するかどうか、など）、権利憲章、公用語、地下資源や沿岸の海底資源、通信、漁業、経済運営、といった分野における連邦政府と州政府の権限、あるいは平衡交付金や家庭法の問題。中でも、資源の所有権を中心とする連邦と州の権限分割の問題、ケベックにおける英語、その他の州におけるフランス語の保護などが焦点になっている。

## 在日カナダ実業人協会 十月十日にダンスパーティ

在日カナダ実業人協会（CBA J）では、十月十日午後六時半から、東京のヒルトン・ホテルでダンスギビング・デー（感謝祭）ダンス・パーティを開く。参加ご希望の方は、カナダ大使館のメル・マクドナルドまたは岡島までご連絡されたし。会費は一人一万円。バンクーバーまでの航空券など、沢山の景品も用意されている。なお、CBA Jでは、このほど役員改選を行ない、新会長にカナダ・インベリアル・バンク・オブ・コマース東京駐在事務所のマーク・L・ベイツトコウ代表を選出した。

## 水中翼船でナイアガラ見物

トロントの棧橋を出発して、すばらしいトロントのスカイライン

を見ながらオンタリオ湖を横断、十九世紀のたたずまいを残す対岸の美しい避暑地ナイアガラ・オンザ・レイクへ……。今年五月、二百人乗り、世界最大の水中翼船三隻が就航、トロントからナイアガラ・オンザ・レイクまで、一時間二〇分の快適な航海が楽しめるようになった。ナイアガラの滝はそこから約二十五キロのところにある。



毎年五月中旬から十月末まで、毎日六〜八便が運航される予定で、料金は片道一等二〇ドル、二等一七・五ドル。

## 米国のテレテキスト実験に カナダのテリドンを採用

カナダが開発した文字図形・情報システムTeletext（テリドン）が、米国の最初のテレテキスト実用実験に利用されることが決まった。テレテキストとは、テレビをコンピュータに接続し、文字や図形を家庭などに伝達する多重放送技術。またテリドンは双方方向テレビ・シ

ステムで、利用者はボタン装置（キーパッド）を操作してコンピュータから必要な情報を得ることができるようになっている。情報は文字または図形として、改良されたテレビの画面に映し出される。実用実験は、首都ワシントンでPBSテレビ網のWETA局が今年末から実施するもので、米公共放送協会（CPB）、全米科学財団、米国電気通信情報庁および連邦教育省が後援する。実験の企画・管理には、ニューヨーク大学芸術学部のオールタネット・メディア・センターがWETA局と共同で行なう。

実験では、テリドン・テレテキスト受信機をあらかじめ決められた家庭およびいくつかの公共の場所に設置し、各種の情報サービスに対する一般の反応を評価する。オールタネット・メディア・センターでは、特に人的要因を重視することに注力しており、そのため端末機には使用状況を記録し、要求のあった情報のページ番号や、時間などの情報を収集するモニター装置が特別にとりつけられることになっている。

アメリカがテリドンを実験用に選んだのは英国のフレステルおよびフランスのアンティオプよりいくつかの点ですぐれているためだという。例えば、テリドンはテレビ画像がより鮮明で、曲線を描いたり文字と色を重ねたりすることができ、プレステルやアンティオプ型は、文字とごく大ざ